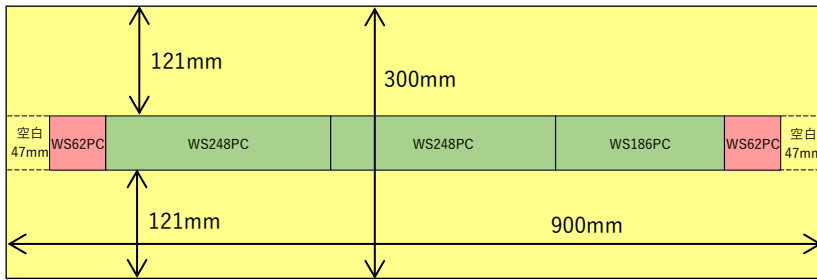


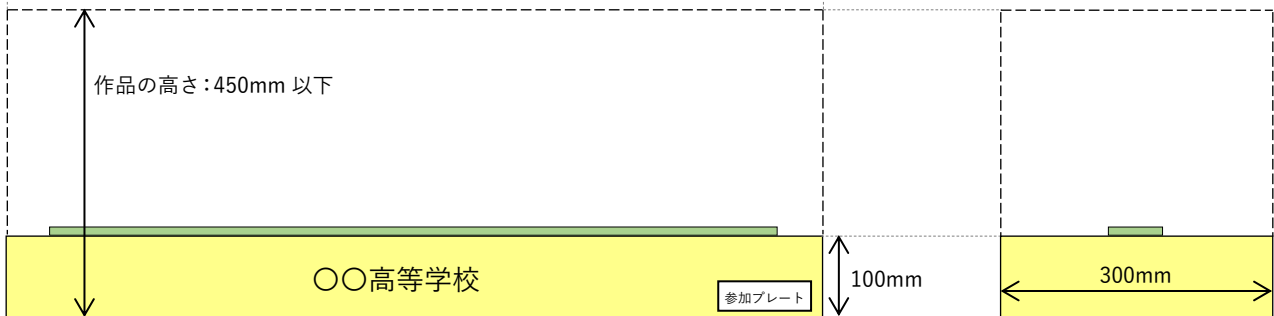
■モジュールボード規格（KATO・直線・ユニットラック線路）

【ボード規格と線路配置図】



使用レール

- WS62PC × 2本（必須）
- WS248PC × 2本
- WS186PC × 1本



【線路敷設に関する規格】

- 原則、ユニットラック線路を使用すること。
- 大型車両が走行可能であれば線路の形状を変更しても構わないが、両端には指定のユニットラック複線レールを必ず使用すること。
- 複線間隔は 33mm を遵守すること。
- レールジョイントは正しく行い、レールは確実にボード本体に固定すること（スタイロフォームなどの柔らかいものに釘で止めるのは不可とする）。
- 敷設後に必ず通電・走行チェックを行うこと。

【電飾に関する規格】

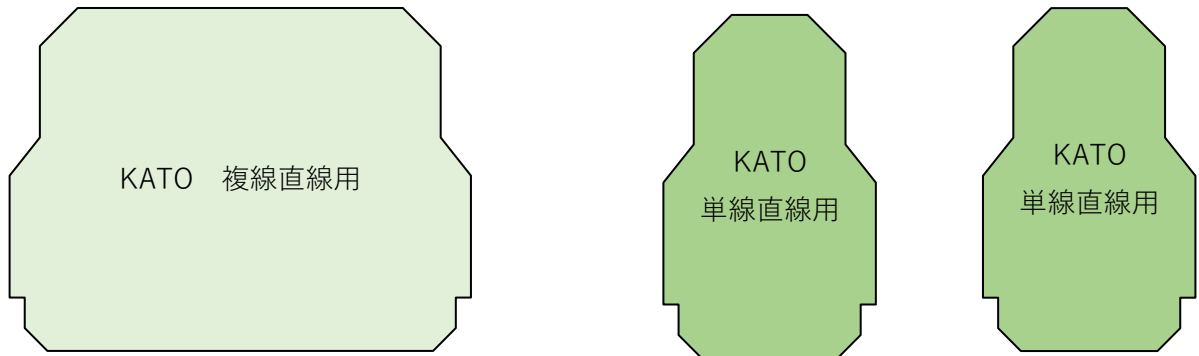
- ショートの恐れがある配線（電線の被覆の剥離、不適切な配線や絶縁処理など）は失格とする。
- 電気配線は必ずボードの内側に収めること。
- 線路からの給電は不可とする。
- 給電方法はコンセントのみとし、乾電池やモバイルバッテリーなどからの給電は認めない。
- 会場でコンセントを使用する場合、延長コードを必ず持参すること（延長コードの貸出は行わない）。
- ボード側面（裏側）に配線を通す穴を作ること。
- ボードを持ち上げることなく電源のオン・オフを切り替えられるようにスイッチを配置すること。

【その他の規格】

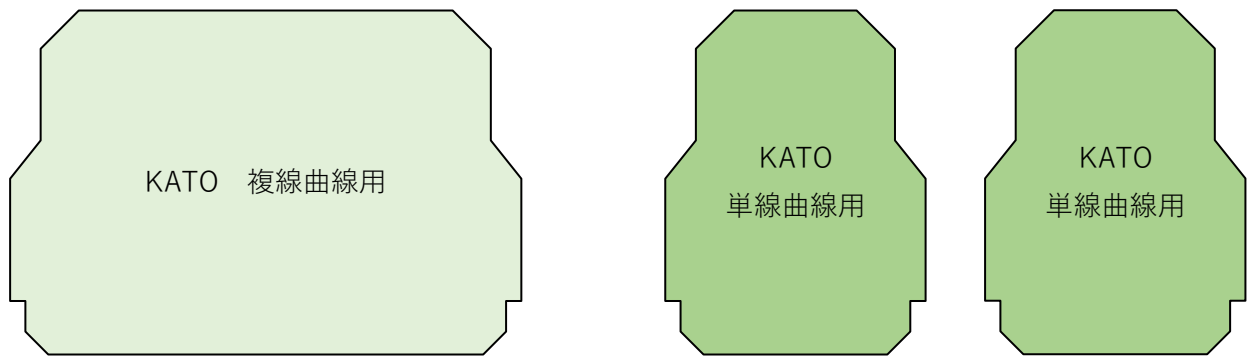
- ストラクチャーはすべて固定すること（当日、設置することは認めない）。
- パウダー類やバラスト類は、走行の支障にならないように使うこと。
- 鉄道との調和性がみられる作品を作ること。
- 建築限界ゲージを参考にし、車両が走行できるようにストラクチャーを配置すること。
- 線路内に踏切板などを設置する場合は、走行の支障とならないようにすること。
- 脱線などにより走行車両が停止した際に、車両の取り出しが容易に行えること。

■KATO 用建築限界

【直線用建築限界ゲージ】



【曲線用建築限界ゲージ】



60mm

【建築限界ゲージの使用上の注意】

- 直線ボードであっても曲線部分を含む場合は曲線用の建築限界ゲージを使用してください。
- 曲線ボードの場合は、すべての箇所で曲線用建築限界ゲージを利用してください。
- 尺度は A4 判で 1：1 となります。尺度の確認には、右上の 60mm の線分を用いてください。
- 本ページを厚紙に印刷するか、A4 用紙に印刷しそれを厚紙に貼り付けて必要部分を切り抜くなどしてご使用ください。
- ホーム、架線、曲線部分の橋梁などが建築限界に違反することが多くなっていますので、これらを設置する場合はご注意ください。

【線路内の建築限界】

- 線路上の付着物や線路周辺箇所の付着物によって車両の走行に支障をきたす場合があります。以下に該当する場合は特にご注意ください。
 - ・ バラストを設置する場合（車輪の接触、車両床面の接触）
 - ・ 踏切板、脱線防止ガードを設置する場合（車輪の接触）
 - ・ パウダー類を散布する場合（車両内への巻き込み）
 - ・ 塗装、接着剤などの（線路上への付着による通電不良）